

小鹿総第 208 号

令和元年 6 月 27 日

小鹿野町政策審議会

会長 小 松 征 三 様

小鹿野町長 森 真 太 郎



定住・移住・交流人口の増加施策について（諮問）

小鹿野町政策審議会条例第 2 条第 1 項の規定により、下記について貴審議会の意見を求めます。

#### 記

平成 31 年 3 月に策定した第 2 次小鹿野町総合振興計画では、基本目標 1 に「人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち」という目標を掲げ、住環境整備・就労支援等の各種施策を実施し、持続可能なまちづくりを推進していく所存でありますが、現在、急速な少子化による人口減少が続いており、人口推計によると 5 年に千人のペースで減少し続け、2030 年には 9 千人を下回ると予測されています。

急速な少子化に歯止めをかけることは、現在の町の最重要課題でもあることから、定住・移住・交流人口の増加施策につきまして貴審議会の意見を求めるため諮問いたします。

#### （理由）

平成 17 年 10 月に町村合併し、新町建設計画に基づき新しい町づくりを推進し、それに続く計画として平成 21 年度から第 1 次総合振興計画を策定し、様々な施策を実施してまいりました。

しかし、平成 30 年度に小鹿野町で生まれ、今年度引き続き町に残っている乳幼児は 34 人、今年度町内の小学校に入学した児童は 65 人、中学校に入学した生徒は 96 人と少子化は急速に進んでいます。

そこで、「持続可能で幸せなまちづくり」を目指し、定住・移住・交流人口を増加させるため、委員の皆さんの経験と知恵をお借りしながら迅速で即効性のある施策を打ち出していきたいと思っております。